

# 四倉地区市街地再生整備基本計画（素案）に関する市民説明会 要旨

## ■ 日 時

令和6年3月4日（月） 18:30～19:40

## ■ 場 所

四倉公民館 2階 ホール

## ■ 会議の流れ

- 1 開会
- 2 挨拶
  - ・都市計画課長
- 3 説明
  - (1) 基本計画の策定にあたって
  - (2) 四倉地区市街地再生整備基本計画（素案）について
  - (3) 市民意見募集（パブリックコメント）の実施概要について
  - (4) 用途地域の変更について
- 4 その他
- 5 閉会



## ■ 意見交換の概要（要旨） ○：参加者 ⇒：事務局

- これだけの施設が1つの場所に集約されるのであれば、騒音問題が生じるのではないかと考えています。小中学校、幼稚園、学童が整備されると、朝から夜の7時～8時くらいまで、送迎を含めて多くの子供たちが利用するのではないかと思います。梅ヶ丘地区は多くのアパートが建設されており、子育て世帯が多く居住していますし、体が不自由な高齢者も多く住んでいると思います。そのような方々に対しての配慮が必要なのではないかと個人的に考えています。
- ⇒ 学校の立地については、地域の方々のご理解が大切だと思っていますので、今後とも地域の皆様のご理解をいただけるように、施設の運用も含めて検討していきたいと思っています。
- 道路の整備についてですが、梅ヶ丘1号線は道路の幅が狭く、現在でも朝などは渋滞しています。また、一部の箇所は道路に電柱が立っているため、すれ違うたびに、片方の車は止まって待っている状況です。そのような状況で歩道を整備するとなると、ますます道路の幅が狭くなり、より渋滞の原因になるのではないかと思いますし、子どもたちの安全に対して思うところがあります。
- ⇒ 住宅が連単している区間については、歩道を整備するのは難しいと考えられますが、車も安全に相互通行でき、子どもたちも安全に通学できるためには、空間の明確化は必要だと考えています。また、車の交通に関しては待機場所を設けるなどといった考え方もありますので、今後、概略設計において検討を進めていきたいと思っています。
- 工場跡地は仮設住宅で利用されていましたが、50年100年後に大きな震災が発生した際に、地区内で地域の方々の避難できる場所が他に確保できるのか気になって

います。

⇒ 交流・防災拠点施設については、避難所・避難場所の機能を想定しています。また、グラウンドについては、車の乗り入れができるように動線を確保し、災害時においても最大限の活用が出来るように検討していきます。今後、大きな災害が発生した際は、皆様の生命や財産を守るために全力を尽くしていきたいと思えます。